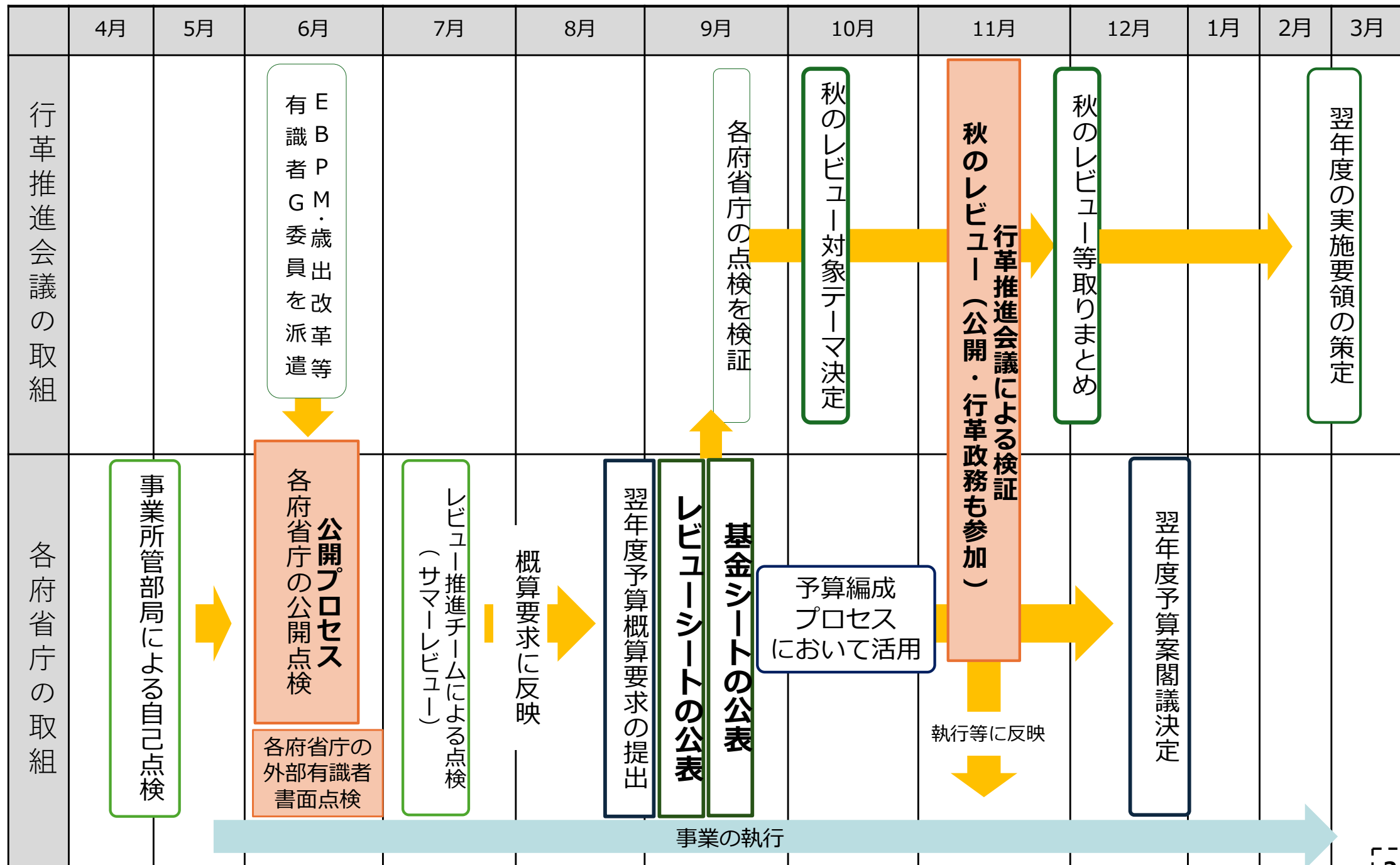


# 令和8年度の行政事業レビューの進め方 について

令和8年2月  
行政改革・効率化推進事務局

# 行政事業レビューの年間スケジュール



## <視 点>

- K P I などの指標設定や効果発現経路といったロジックモデルの検証等を通じ、**E B P Mの定着・深化**を図る観点
- 執行状況等を踏まえ**基金事業の適正な実施**を確保する観点
- **地方公共団体等の実施主体の実情**も踏まえ、**より効果的な事業のあり方**を検討する観点 等

## <対象事業>

【文部科学省】	いじめ対策・不登校支援等総合推進事業	
【厚生労働省】	重層的支援体制整備事業交付金	
【国土交通省】	鉄道駅総合改善事業	
【環 境 省】	「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業	
【防 衛 省】	装備品安定製造等確保事業	
【総 務 省】	デジタル基盤改革支援補助金	《基金》
【経済産業省】	安定供給確保支援事業（重要鉱物）	《基金》

## <取りまとめにおける主な指摘事項>

- レビューシート作成に当たっては、事業内容や性質に応じて**アクティビティを適切に区分**し、その目的や解決すべき課題などを**分かりやすく丁寧に記載**するとともに、長期的なアウトカムに向けた進捗が把握できるよう、**適切な短期・中期のアウトカムを設定**すべき。
- 基金の「**3年ルール**」の具体的な適用に関し、基金設置法人による**採択・交付決定・支出のプロセスも踏まえた予算措置額の具体的な考え方**や、**積み増しをする場合の既存基金残高との関係や条件等**について、その趣旨に基づき明確に示すべき。
- 国として**事業の目的・優先順位**や**自治体の役割**を具体的に明示するとともに、自治体の効果的な事業実施に向け、**事業計画の作成ガイドの策定**や**因果関係を含めた優良事例の横展開**等の方策を検討すべき。

# 租税特別措置・補助金見直しの取組との連携

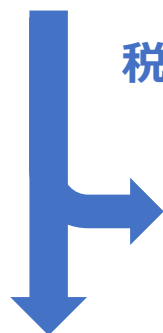
令和7年12月2日租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議  
「資料1 租税特別措置・補助金の適正化の進め方（案）」※一部実績に基づきアップデート

※ 租税特別措置・補助金の見直しについては、R8年度予算編成・税制改正から着手

R7

11月25日 行政改革・効率化推進事務局（租税特別措置・補助金見直し担当室）設置

12月2日 租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議



税制改正プロセス・予算編成過程で必要な見直しを実施

直ちに見直し可能な項目については、  
令和8年度政府税制改正大綱・令和8年度当初予算概算に反映

12月26日 見直し結果概要を報告・公表

※ R9年度予算編成・税制改正では、要求・要望段階から査定段階まで一貫した対応を実施

R8

- R9年度要求・要望に向けて、要求官庁と連携して租税特別措置・補助金の総点検を行う。  
（各省の行政事業レビュー自己点検プロセスやEBPMのアドバイザリーボード等、既存の取組も活用）

# 令和8年度公開プロセスの流れ

目安時期

(各府省庁による外部有識者点検対象事業・公開プロセス対象事業候補の選定)

4月

外部有識者選定

各府省庁と行革事務局の選定有識者が同数になるよう調整

外部有識者会合

対象事業候補について外部有識者との議論により絞り込み、公開プロセスの対象事業を決定

5月

事前勉強会

有識者による指摘予定内容の問題意識の共有、事実誤認等の確認

6月

現地視察（必要に応じて）

外部有識者から要請があった場合に実施

公開プロセス

7月

～

8月

政務講評

外部有識者による点検内容を各府省庁の政務に講評

令和9年度予算概算要求

公開プロセス結果、書面点検結果を概算要求予算に反映

# 行政事業レビューシート等の作成・点検におけるAI活用に向けた協力依頼

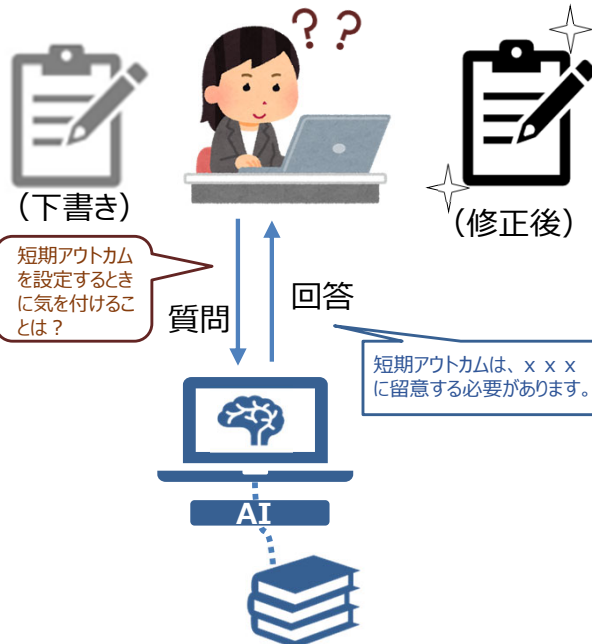
※現時点での想定であり、今後変更があり得る。

- EBPMの更なる推進に向け、行政事業レビューシート等の質の向上と業務負荷の軽減の両立を目指し、次期RSシステムにAI機能の導入を検討しており、行革事務局では、令和8年度に実証事業を実施する予定。
- 各府省庁におかれては、行革事務局のAI実証のうち、レビュー推進部局が行うレビューシート等の点検に係るAI機能の実証事業に対し、御協力をお願いしたい。

## レビューシート等の作成 (事業所管課室)

### 課題

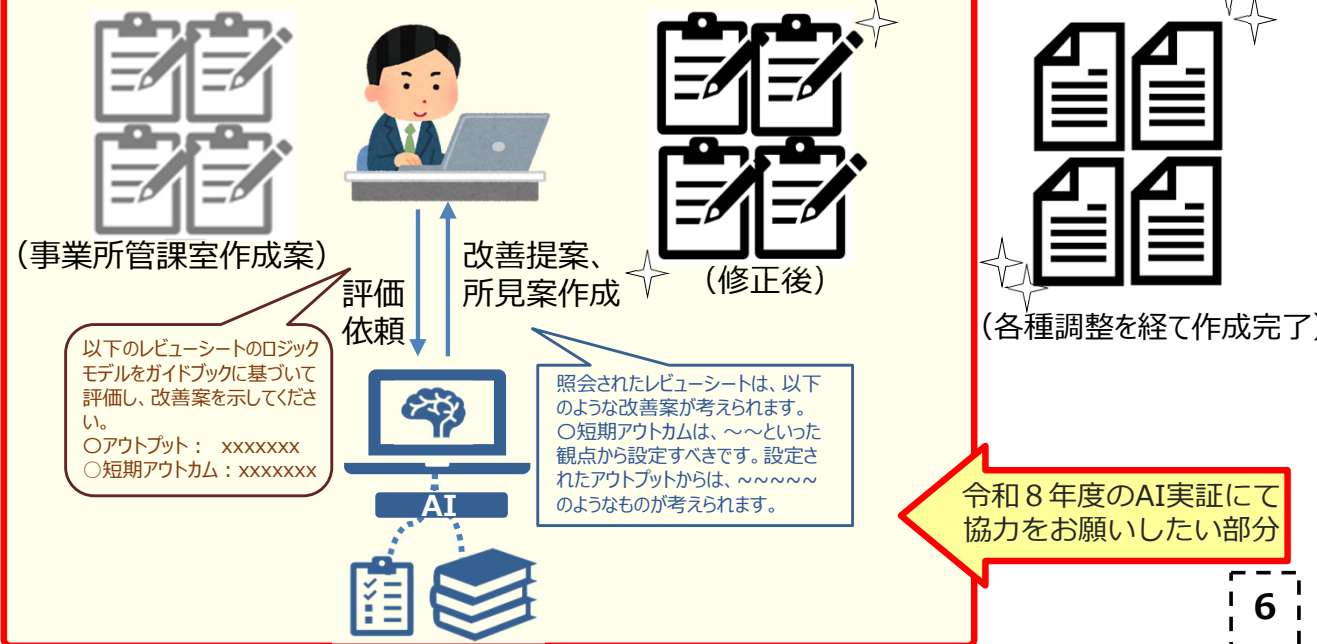
- ・ 作成要領や関連ガイドブックなどを参照しながら、レビューシート等を作成
- ・ シートの項目数や参照文書の分量が多いため、的確な情報の入力には時間と労力を要する



## 作成されたレビューシート等の点検 (行政事業レビュー推進チーム)

### 課題

- ・ 作成要領や関連ガイドブックなどを参照しながら、全レビューシート等を点検し、結果を入力
- ・ シート数が大量かつ参照文書の分量が多く、的確な点検には時間と労力を要する



令和8年度のAI実証にて  
協力をお願いしたい部分

現状

令和10年度以降

# 次期RSシステム整備に向けたAI実証の進め方（イメージ）

※現時点での想定であり、今後決定する  
受注事業者と具体的に調整予定

## 1. 検証の対象

- 令和8年度にサマーレビューを行うレビューシート等のうち府省庁ごとに最大で**150シート**程度
- ※1 実証に用いるシートは、行革事務局にて事業者と調整して選定し、AI実証参加府省庁に提示予定。
- ※2 AI利用の効果を測るため、150シートのうち約1割のシートは、AIを利用しない従来の点検・評価も実施いただき、その後AIを利用した場合の作業時間や記載の充実度等を比較いただく。

## 2. AI実証参加府省庁からいただきたいフィードバック

主な観点	フィードバックいただきたい主な内容	フィードバック方法
1. AIの精度	AIの指摘・改善提案は、EBPMの観点から点検・評価業務を補助できるだけの精度を保っているか。EBPMの観点から更にどのような指摘・改善提案があるとよいか。	<b>AI実証のアプリ</b> 上で、レビューシート等ごとに回答（右下イメージ図参照）
2. 業務へのインパクト	AIの利用により、レビューシート等の記載が改善したか。改善している場合、AIを使わない場合に同程度の記載を行うとどのくらいの時間がかかるか。 AIの利用により、シート1枚当たりの作業時間は短縮されたか。 短縮された作業時間を、他の政策立案業務に有効活用できたか。 AIの利用により、点検・評価業務に取り掛かる心理的負担に変化はあったか。	<b>行革事務局のアンケート</b> に、実証参加者ごとに回答
3. UI・UX	アプリケーションの使い勝手、AIを使うタイミング	

## 3. AI実証への参加で得られるメリット

- 次期システムでのAIの実装に当たり、いただいたフィードバックを反映
- 検証対象以外のシートの点検・評価での実証用AIの活用による業務負担軽減

## 4. 今後の主なスケジュール

令和8年5～6月	7～8月	9月～
<ul style="list-style-type: none"><li>行革事務局から、AI実証参加府省庁に、実証に用いるシートを送付・確認依頼</li><li>AI実証参加府省庁向けに実証マニュアル配布、説明会の実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>AI実証実施（7月中）</li><li>AI実証参加府省庁の参加者用のアンケート送付・回答依頼（7月中旬～8月上旬）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アンケート結果や実証結果取りまとめ速報版等の共有</li></ul>

（アプリでの評価イメージ図）

